

平成25年6月18日

プレスリリース

独立行政法人森林総合研究所
林木育種センター東北育種場

陸前高田市「奇跡の1本松」後継樹の現状について(報告)

陸前高田市の高田松原の7万本のマツのうち、東日本大震災の津波に耐えた「奇跡の1本松」の後継樹の生育状況等についてお知らせします。

1 東北育種場における取組

東北育種場においては、「奇跡の一本松」の保護活動に対する地元の期待に応えるため、2011年4月22日に関係機関の協力を得て採取した枝からつぎ穂と松ぼっくりを利用して後継樹育成に取り組んできました。

後継樹の育成については、貴重な樹木の遺伝子を保護する制度である「林木遺伝子銀行110番」に基づき、つぎ木等を行いました。

2 当初つぎ木の確認ができた4本(つぎ木4兄弟)についての現在の生育状況

長男：ノビル	苗高	24cm	6月12日計測
次男：タエル	苗高	28cm	〃
三男：イノチ	苗高	41cm	〃
四男：ツナグ	苗高	27cm	〃

とそれぞれ、順調に生育しています。



4兄弟全景(左から)ノビル、タエル、イノチ、ツナグ



ノビル

タエル

イノチ

ツナグ

3 松ぼっくりから採取した種子から育成した実生苗の生育状況

後継樹は、つぎ木以外に実生苗にも取り組んでおり、順調に生育しています。



「実生苗」全景【6月12日】

4 後継樹の里帰りについて

今後、陸前高田に後継樹が里帰りすることになります。東北育種場の場内にも、今後のことを考えて、後継樹を保存する必要があり、里帰りするのは、つぎ木苗4兄弟と実生苗数本程度を予定しています。「林木遺伝子銀行110番」の仕組みの下で育成されたこの他の苗については、今後の高田松原の復旧等のため、遺伝資源として東北育種場で保存・活用していく予定です。

問い合わせ先

森林総合研究所林木育種センター東北育種場

(担当：田之畑、安部、大蔵)

〒020-0173

岩手県岩手郡滝沢村大崎95

電話：019-688-4518 FAX:019-694-1715